

はじめにーこの冊子の使い方ー

ひとたび災害が発生すれば、被災者の中には必ずペットの飼い主も含まれ、避難の際にはペットとの同行避難が行われます。

このチェックリストは、災害時に必要な人とペットの災害対策について、特に市区町村などの基礎自治体が行う災害への平時の備えと、災害発生後に迅速に行わなければならない基本的な行動を確認するために作成したものです。作成に当たっては、これまでの災害における経験や、広域にわたる大規模災害への対応の課題を探るために環境省が全国8ブロックで行った、広域支援・受援体制整備に係るモデル図上訓練で得られた知見を活用しています。

この冊子ではまず第1項で、特に重要だと考えられる、災害時に被災者等が真っ先に利用する「指定緊急避難場所」や「指定避難所」での同行避難の受入れ等に係る注意点をまとめました。次に第2項に避難所等でのペットを連れた被災者への対応で特に必要となるポイントをまとめています。

さらに、第3項では災害時の動物救護活動を計画的に実施するために自治体が対応すべき項目について、内閣府¹が挙げる17項目に沿って整理したうえで、動物救護活動に関する平時の備えと災害発生後の活動とに分けて、それぞれチェックリストを作成しました。

それぞれのチェックリストは、□にチェックしながら各項目への対応状況を確認できるようになっています。チェック項目は簡潔に記載していますが、それぞれに解説を設けていますので、必要に応じて参照してください。市区町村などの基礎自治体の防災担当の皆さまには、このチェックリストを活用して地域防災計画を再度見直すなど、地域の防災対策の一環としてペットの飼い主支援にも取り組んでいただきたいと思います。

なお、ここに書かれている対策は、災害時の被災者支援の体制を構築し、救護活動を実践するためのものですが、作られた体制が実際に機能するかを確認するためには、防災訓練を定期的に行うことが重要です。それぞれの地域の実情に合わせたペットとの同行避難訓練等を通じて結果を検証した上で、新しい知見や更に対応が必要な事項が生じた際には、PDCA²サイクルに従って、それまでの計画や活動内容を見直してください。

¹ 地方都市等における地震対応のガイドライン,2013,内閣府(防災担当)
http://www.bousai.go.jp/jishin/chihou/pdf/chihou_guidelines.pdf

² Plan(計画)、Do(実行)、Check(測定・評価)、Action(対策・改善)の仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという概念